



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月12日

上場会社名 エスペック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6859 URL <https://www.espec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 雅昭
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部長 (氏名) 大島 敬二 TEL 06-6358-4741
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	18,776	△1.7	1,387	△16.4	1,494	△13.7	1,046	△17.6
2019年3月期第2四半期	19,092	3.8	1,659	2.1	1,732	2.4	1,270	9.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 646百万円 (△26.7%) 2019年3月期第2四半期 881百万円 (△39.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	45.79	-
2019年3月期第2四半期	55.60	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	53,805	41,692	77.5	1,823.33
2019年3月期	57,359	42,088	73.4	1,841.30

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 41,692百万円 2019年3月期 42,088百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	22.00	-	46.00	68.00
2020年3月期	-	22.00	-	-	-
2020年3月期（予想）	-	-	-	46.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	-	3,600	-	3,700	-	2,700	-	118.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

上記の数値のうち通期の対前期増減率については、前期に在外連結子会社の決算期統一を行い、15か月間の決算を行ったため記載を省略しております。なお、従来通り在外連結子会社の決算期が12か月間であった場合の対前期増減率については下記の通りになります。

(参考) 2019年3月期の在外連結子会社の決算期が12か月間であった場合の対前期増減率 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期（12か月）	42,500	△9.6	3,600	△34.1	3,700	△32.6	2,700	△33.0	118.09

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	23,781,394株	2019年3月期	23,781,394株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	915,141株	2019年3月期	923,367株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	22,862,132株	2019年3月期2Q	22,858,132株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済につきましては、米中貿易摩擦の長期化などにより製造業を中心に減速基調が継続し、世界経済の先行き不透明感が強まる状況となりました。

当社の主要顧客におきましては、自動車関連メーカーでは投資が堅調に推移いたしました。その他の業種では投資に慎重な姿勢が見られ、投資の先送りが継続する状況となりました。

このような状況の中、当社は自動車やIoT関連市場をターゲットとした環境試験器のカスタマイズ対応力の強化やエナジーデバイス装置の販売拡大に取り組むとともに、欧州・ASEANを重点拡大地域と位置付け、海外市場での売上拡大に取り組んでまいりました。

こうした結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前年同四半期比で受注高は4.9%減少し23,463百万円、売上高は1.7%減少し18,776百万円となりました。利益面につきましては、売上高の減少や原価率の悪化により、営業利益は16.4%減少し1,387百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は17.6%減少し1,046百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (2019年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (2020年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	24,681	23,463	△4.9
売上高	19,092	18,776	△1.7
営業利益	1,659	1,387	△16.4
経常利益	1,732	1,494	△13.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,270	1,046	△17.6

セグメント別の経営成績

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の経営成績

	受注高 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益又は 営業損失 (△) (百万円)
装 置 事 業	18,476	15,131	1,171
サ ー ビ ス 事 業	3,242	3,075	280
そ の 他 事 業	1,865	675	△65
連 結 消 去	△120	△106	1
計	23,463	18,776	1,387

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場では、汎用性の高い標準製品が堅調に推移いたしました。カスタム製品が好調であった前年同四半期比で減少し、受注高・売上高ともに前年同四半期比で減少いたしました。海外市場では、米国・欧州の売上高は前年同四半期比で増加いたしました。中国・ASEAN・韓国は減少いたしました。環境試験器全体では受注高・売上高ともに前年同四半期比で減少いたしました。

エナジーデバイス装置につきましては、二次電池評価装置および燃料電池評価装置の受注の遅れにより前年同四半期比で受注高は減少いたしました。売上高は増加いたしました。

半導体関連装置につきましては、バーンインシステムが堅調に推移し、受注高・売上高ともに前年同四半期比で増加いたしました。

こうした結果、装置事業全体では、前年同四半期比で受注高は11.5%減少し18,476百万円、売上高は3.2%減少し15,131百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の減少や原価率の悪化により19.7%減少し1,171百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (2019年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (2020年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	20,874	18,476	△11.5
売上高	15,639	15,131	△3.2
営業利益	1,457	1,171	△19.7

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、受注高は前年同四半期並みとなり、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

受託試験・レンタルにつきましては、受託試験の受注の遅れにより、受注高は前年同四半期並みとなりましたが売上高は前年同四半期比で減少いたしました。

こうした結果、サービス事業全体では、前年同四半期比で受注高は0.1%増加し3,242百万円、売上高は0.6%増加し3,075百万円となりました。営業利益につきましては、研究開発費などの販管費の増加により1.4%減少し280百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (2019年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (2020年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	3,238	3,242	0.1
売上高	3,056	3,075	0.6
営業利益	284	280	△1.4

<その他事業>

環境保全事業および植物工場事業を中心とするその他事業では、植物工場の大型受注があり、前年同四半期比で受注高は174.7%増加し1,865百万円、売上高は35.3%増加し675百万円、利益面につきましては原価率の悪化により65百万円の営業損失となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (2019年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (2020年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	679	1,865	174.7
売上高	499	675	35.3
営業損失 (△)	△83	△65	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2・第4四半期連結会計期間に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの経営成績には著しい季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は53,805百万円で、前連結会計年度末と比べ3,553百万円の減少となりました。その主な要因は、前連結会計年度末に計上された売上債権の回収に伴う受取手形及び売掛金ならびに電子記録債権の減少6,838百万円、現金及び預金の増加1,623百万円、受注残高の増加に伴う仕掛品等のたな卸資産の増加1,192百万円などによるものであります。また、負債は12,112百万円で前連結会計年度末と比べ3,157百万円の減少となりました。その主な要因は、仕入債務の支払いに伴う支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務の減少1,438百万円、その他流動負債の減少1,340百万円、未払法人税等の減少304百万円などによるものであります。純資産は41,692百万円で前連結会計年度末と比べ395百万円の減少となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定による減少450百万円、その他有価証券評価差額金の増加37百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表しました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2019年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,028	13,652
受取手形及び売掛金	18,644	12,350
電子記録債権	2,493	1,948
有価証券	2,901	2,901
商品及び製品	1,054	1,598
仕掛品	1,674	2,326
原材料及び貯蔵品	2,129	2,126
その他	2,070	2,072
貸倒引当金	△93	△32
流動資産合計	42,905	38,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,505	3,467
土地	4,446	4,442
その他(純額)	2,011	2,404
有形固定資産合計	9,963	10,314
無形固定資産		
のれん	455	411
その他	283	262
無形固定資産合計	739	673
投資その他の資産	3,751	3,871
固定資産合計	14,454	14,859
資産合計	57,359	53,805
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,164	2,470
電子記録債務	4,597	3,853
未払法人税等	815	510
賞与引当金	406	377
役員賞与引当金	13	—
役員株式給付引当金	18	—
製品保証引当金	255	207
受注損失引当金	0	5
その他	4,412	3,072
流動負債合計	13,685	10,496
固定負債		
退職給付に係る負債	63	65
役員株式給付引当金	53	67
役員退職慰労引当金	4	4
資産除去債務	14	14
その他	1,449	1,463
固定負債合計	1,585	1,616
負債合計	15,270	12,112

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,120	7,120
利益剰余金	29,080	29,067
自己株式	△1,198	△1,180
株主資本合計	41,898	41,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,123	1,160
土地再評価差額金	△662	△662
為替換算調整勘定	△155	△605
退職給付に係る調整累計額	△115	△103
その他の包括利益累計額合計	190	△210
純資産合計	42,088	41,692
負債純資産合計	57,359	53,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	19,092	18,776
売上原価	12,062	12,172
売上総利益	7,030	6,604
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,569	1,580
賞与引当金繰入額	111	114
役員株式給付引当金繰入額	33	18
製品保証引当金繰入額	76	70
のれん償却額	31	31
その他	3,547	3,400
販売費及び一般管理費合計	5,371	5,216
営業利益	1,659	1,387
営業外収益		
受取利息	11	12
受取配当金	39	110
貸倒引当金戻入額	20	48
その他	76	27
営業外収益合計	147	197
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	67	82
支払手数料	4	4
その他	3	3
営業外費用合計	75	90
経常利益	1,732	1,494
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	5	5
特別損失合計	5	7
税金等調整前四半期純利益	1,727	1,487
法人税、住民税及び事業税	456	440
四半期純利益	1,270	1,046
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,270	1,046

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,270	1,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△226	37
為替換算調整勘定	△175	△450
退職給付に係る調整額	13	11
その他の包括利益合計	△388	△400
四半期包括利益	881	646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	881	646

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	15,620	2,973	498	19,092	—	19,092
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	82	1	102	△102	—
計	15,639	3,056	499	19,195	△102	19,092
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,457	284	△83	1,658	0	1,659

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	15,112	2,989	675	18,776	—	18,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	86	0	106	△106	—
計	15,131	3,075	675	18,883	△106	18,776
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,171	280	△65	1,386	1	1,387

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。